

2025 年 11 月 27 日

鹿児島本線と日豊本線に GOA2.5 自動運転を導入します

GOA2.0 自動運転本格導入、2027 年末までの GOA2.5 自動運転区間拡大を目指す

九州旅客鉄道株式会社では、少子高齢化や人口減少が進む中で交通ネットワークを長期的に維持していくため、安全性を維持・向上しながら業務運営の効率化を行っています。また、将来にわたる労働人口減少の中で必要な人材を確保するため、作業の自動化や機械化を推進しており、中期経営計画 2025-2027 で掲げる「サステナブルなモビリティサービスの実現」に向けて「鉄道における自動運転の推進」に取り組んでいます。

この度、2025 年 12 月に自動列車運転支援装置（GOA2.0 自動運転）を本格導入すると共に、2024 年 3 月より導入した GOA2.5 自動運転の 2027 年末までの区間拡大を目指します。

※ GOA：Grades of Automation

1. GOA2.0 自動運転 本格導入

- 〔導入時期〕 2025 年 12 月 1 日（予定）
〔対象区間〕 鹿児島本線 門司港～荒尾
日豊本線 小倉～宇佐
〔対象車両〕 813 系・817 系



2. GOA2.5 自動運転 区間拡大

- 〔導入時期〕 2027 年末まで（目標）
〔対象区間〕 鹿児島本線 門司港～小倉
日豊本線 小倉～宇佐
〔対象車両〕 813 系

3. これまでの自動運転の取組みと今後の展望

時期	内容
2019年12月	自動列車運転装置の走行試験報道公開（香椎線 西戸崎～香椎）
2020年12月	GOA2.5実証運転開始（香椎線 西戸崎～香椎）
2022年3月	GOA2.5実証運転区間・対象列車を拡大（香椎線 全線）
2023年3月	GOA2.0自動運転の走行試験開始（鹿児島本線 赤間～久留米）
2024年3月	GOA2.5自動運転（香椎線）・GOA2.0実証運転（鹿児島本線 折尾～二日市）開始
2025年12月 （予定）	GOA2.0自動運転本格導入（鹿児島本線 門司港～荒尾, 日豊本線 小倉～宇佐）
2027年末 （目標）	GOA2.5自動運転区間拡大（鹿児島本線 門司港～小倉, 日豊本線 小倉～宇佐）

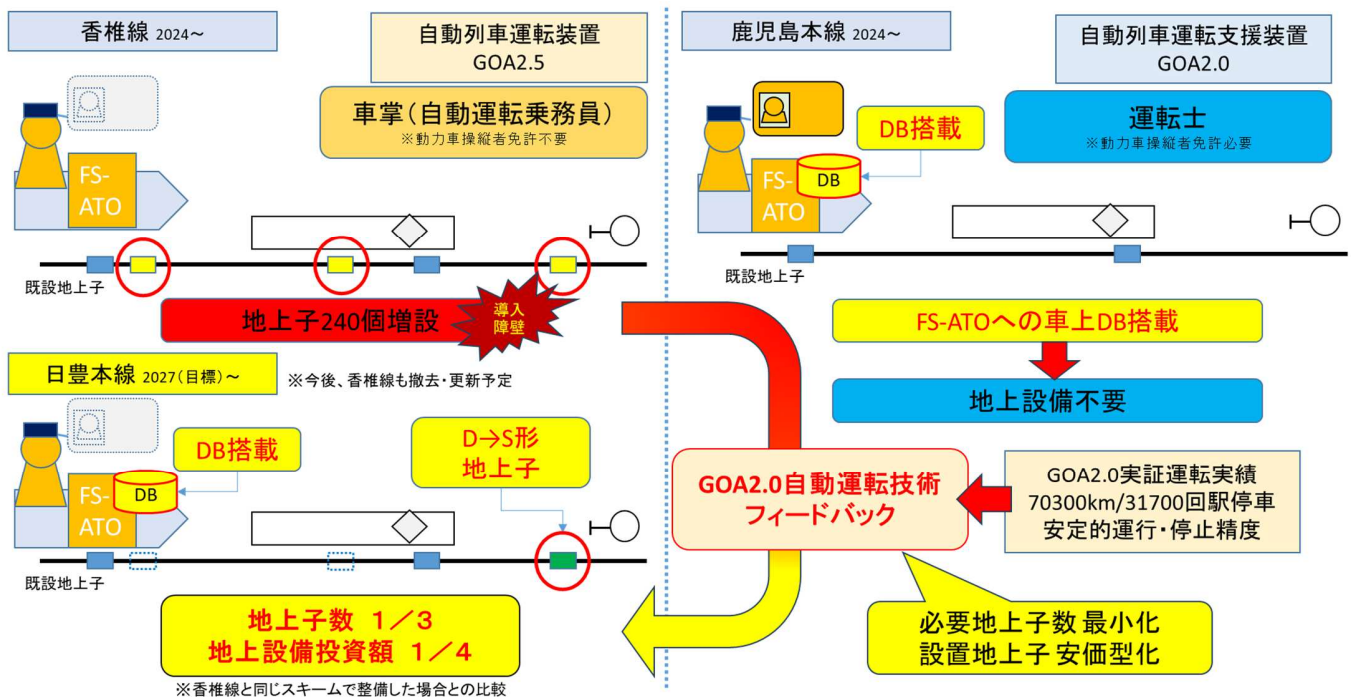
4. GOA2.5 自動運転導入負荷軽減

別紙参照

GOA2.5 自動運転拡大・導入における改善点

2024年3月に導入したGOA2.5自動運転技術を基に、GOA2.0自動運転技術を同時期から開始したGOA2.0実証運転により確認。このGOA2.0自動運転技術をGOA2.5自動運転にフィードバックすることで、GOA2.5自動運転導入における地上設備投資の最小化を実現。加えて、自動列車運転支援装置と位置付けることで、走行実績蓄積及び機能向上の迅速化によりGOA2.5導入までの期間を短縮。

1. FS-ATO への DB 搭載による地上設備投資最小化



2. GOA2.0 自動運転を活用した GOA2.5 導入までの期間短縮

